

被表彰者、受賞者を紹介します

更生保護事業功労者表彰および税についての作文・税の標語の受賞者を紹介します（敬称略）。

表彰

更生保護事業功労者表彰

罪を犯した人および非行のある少年・少女の改善更生と再犯防止に尽力されています。
▽全国保護司連盟理事長表彰



伊東 秀子
（八日市場イ）

▽関東地方更生保護委員会委員長表彰



柴田 桂子
（野手）



平山 新治
（椿）



増田 正義
（春海）

▽関東地方更生保護委員会委員長感謝状



伊東 節子
（新堀）

▽関東地方保護司連盟会長表彰



上杉 照史
（八日市場イ）



勝股 完治
（堀之内）



南 波 隆
（飯倉台）

▽千葉県知事感謝状

伊藤 好江（長谷）

▽千葉県保護観察所長感謝状

伊藤 栄子（八日市場ホ）
太田 敬子（八日市場イ）
林 みよ（野手）

▽千葉県保護司会連合会長表彰

伊藤 拓男（西小笹）
平山 泰史（飯倉台）

▽千葉県更生保護女性連盟会長表彰

鶴之沢 幸子（蕪里）
越川 淑枝（大寺）
柴田 桂子（野手）

受賞

中学生の「税についての作文」と「税の標語コンクール」の受賞者を紹介します。

税についての作文

▽東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞

伊藤 向日葵（野栄中学校3年）
熱田 結花（八日市場第二中学校3年）

▽銚子税務署長賞

斉藤 幸麗（野栄中学校3年）

▽匝瑳市長賞

石井 綾花（八日市場第一中学校3年）

▽銚子税務署管内納税貯蓄組合総連合会優秀賞

大木 捺未（八日市場第一中学校3年）

葉木 結月（八日市場第一中学校3年）

税の標語コンクール

▽千葉県間税会連合会長賞
富樫 千景（野栄中学校3年）



広報そうさ イベント情報を掲載しませんか

本紙のイベント情報の充実のため、本紙に掲載するイベントや行事などの情報を募集します。
掲載できるイベント：
ト：市内在住・在学・在勤の人を主な参加対象とし、市内で開催されるイベントや行事（営利目的の場合などは掲載できません）

申し込み：日時や場所、内容など掲載に必要な情報を記載した書類（書式は問いません）を、掲載希望月の2カ月前の25日までに左記まで※申し込みいただいたイベント情報のすべてが掲載できるとは限りません。掲載の基準や申し込み方法などの詳細は、市ホームページをご覧ください。
か、左記までお問い合わせください。

▼市ホームページはこちら



申問秘書課広報広聴班

☎ 73・0080

市議会12月定例会を開催

新たな議会人事が決定

市議会12月定例会で、正副議長、議会運営委員会および常任委員会の各委員、一部事務組合議会議員が改選され、新たな議会人事が決まりました。

12月定例会で決まった新たな議会人事は次の通りです（敬称略）。

◆議長・副議長

議長：行木光一 副議長：都祭広一

◆議会運営委員会

委員長：武田光由 副委員長：石橋春雄 委員：石田勝一、田村明美、荻谷進一、山崎等、林明敏、近藤魁人

◆常任委員会

▽総務常任委員会

委員長：近藤魁人 副委員長：増田正義 委員：荻谷進一、山崎等、行木光一、都祭広一

▽文教福祉常任委員会

委員長：内山隼人 副委員長：田村明美 委員：佐藤悟、石田加代、平山政利、伊東一成

▽産業建設常任委員会

委員長：石橋春雄 副委員長：椎名勝英 委員：石田勝一、武田光由、林明敏、増田清巳

▽予算決算常任委員会

委員長：平山政利 副委員長：伊東一成 委員：正・副委員長を除く他の議員

◆一部事務組合議会

▽東総衛生組合

林明敏、増田正義

▽匝瑳市ほか二町環境衛生組合

佐藤悟、平山政利、伊東一成

▽匝瑳市横芝光町消防組合

石田勝一、山崎等、椎名勝英、近藤魁人

▽東総地区広域市町村圏事務組合

行木光一、荻谷進一、武田光由

▽八匠水道企業団

行木光一、田村明美、内山隼人、石橋春雄、増田清巳

▽千葉県後期高齢者医療広域連合

石田加代

問議会事務局 ☎73・0099

中高年向け 再就職支援セミナーを開催

就活スキルが学べる／



在職・求職中を問わず、おおむね40歳～65歳の人を対象とした再就職支援セミナーを開催します。千葉県ジョブサポートセンターの相談員を講師に招き、仕事の探し方や応募書類の書き方などを学びます。

なお、雇用保険受給中の求職活動実績となります。該当する人は雇用保険受給資格者証を持参してください。
日時：1月28日（火）10時～12時
場所：芝山町役場（芝山町）定員：30人（申し込み順）
申し込み：芝山町産業振興課（☎77・3919）まで
※参加無料。セミナー終了後、個別相談（1人30分程度、4人まで）を行います。希望者は申し込みの際にお伝えください。

問商工観光課商工観光班

☎73・0014

脱炭素のすすめ

Vol.09

「再エネの電気を選ぶ」

私たちが普段使っている電気は、約7割が海外から輸入される化石燃料を使用して発電されています。太陽光や水力など「再生可能エネルギー（再エネ）」による発電の割合も2割程度まで増加してきましたが、脱炭素化の推進に向けて、この割合を増やす必要があります。

◆再生可能エネルギー（再エネ）とは

再生可能エネルギー（再エネ）とは、太陽光や風力など自然界に常に存在するエネルギーです。枯渇することがなく、発電時に温室効果ガスの排出がほとんどないため、環境に優しいエネルギーともいわれています。

これらを利用した発電の割合の多くを占めているのが太陽光発電で、次が水の流れなどを利用する水力発電で

市では、令和5年11月に環境省の脱炭素先行地域に選定されたことを受け、今年度から新たに「ゼロカーボン推進課」を設置しました。このコーナーでは脱炭素社会の実現に向け、さまざまな情報を発信していきます。

問ゼロカーボン推進課 ☎73-0019

す。この他、森林の未利用材や廃棄物などを燃料とするバイオマス発電や風の強さを利用する風力発電、火山や温泉の熱を利用した地熱発電があります。

◆再エネ発電の電気を使うには

再エネ発電の電気を使うには、電気プランの変更や再エネ割合の高い電力会社に契約を切り替える方法などがあります。どちらも電気の供給方法を変えずに電気が変わります。地球温暖化対策や脱炭素化の推進にも大きな役割を果たす「再エネ」発電の電気は、海外から輸入する化石燃料などの価格高騰により電気料金が上昇する一方で、設備の設置コストは低下してきており、経済的なメリットは大きくなっています。